

學

「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず」とは福澤諭吉の言葉だ。百年以上にわたりすゝめ！すゝめ！と學を押し付けられても、根本である「人」は解けぬままだ▼學の世界において人は人間に進化するらしい。故に世界中の大學で人間學部はあるが人間部はない。そして人間を解明する人間學でも人間は解けていないのだ▼天文學で宇宙の始まりは謎のままだ。御用學は多いが山積の社会問題を解決する解決學はない。宇宙の始まりから根本問題、社会問題に至るまで解決

ができなくて何のための學であるのか？▼何故、學では根本が解けないのか。それは學の一字に謎が秘め隠されている。學とは「マネブ」ことである。學ぶとは「眞似る」と同源(広辞苑)。いくら眞似が上手でも本物(者)にはなれない。いつまでも、どこまでもサル眞似だ▼博言學とは言語學の旧称である。言語がなければ學は成立しない。ところが言語學はあっても文字學はない。文字は言語に含まれてしまっている。文字は言語ではない。文字と言語は全く質と能力が異なるのである。文字と言語を混同し、文字が言語にされている限り根本問題の答は出ない▼答の出ない學は我苦、學問は我苦悶だ。答が出れば學も問も終りだ。